

災害時に即時復旧

沖縄クロス・NTTデータ

「クラウド」で新サービス

情報通信サービスの沖縄クロス・ヘッド（那覇市、渡嘉敷唯昭社長）とNTTデータビジネスシステムズ（東京、羽生田文晴社長）

は18日、災害時に即時にシステム復旧を図れる機能をひとまとめにしたサービスを開発したと発表した。データを沖縄側のサーバーに随時転送、蓄積し、被災時にはクラウド技術で沖縄のサーバーを操作して業務の基幹システムを立ち上げるこ

とができる。2月末に国内大手精密機器メーカーへの提供が決まっている。首都圏の企業に売り込み、初年度は10件の販売を目指す。

インターネット経由でソフトウェアを提供する沖縄クロスのクラウド技術を使った独自サービスと、効率的にデータを転送できるNTTデータの技術を組み合わせ、共同開発した。県の一括交付金の支援を受けた。

新サービスは、各企業が自社の主要サーバーで構築した業務の基幹システムな

どに関して、データを随時バックアップ（複写）して沖縄側に同時転送、蓄積する。被災時には、サーバー設計やネットワーク構築などデータセンターで行う物理的な操作がクラウド基盤で遠隔地から可能になり、即時システム復旧につながる仕組み。監視や運用なども合わせた一元的なサービスとして提供する。最速で30分での復旧が可能という。

主要サーバーと同様の機器を整備して備えるのに比べ、被災時のみ稼働するため、費用を抑えられる。本土から離れ、同時被災の危険性が低い沖縄の活用を促し、情報通信産業の活性化につながる。